

令和5年度第一回海陽学生レース

帆走指示書

1. 適用規則

本大会は「セーリング競技規則」に定義された「規則」を適用する。

2. 競技者への通告

競技者への通告は、陸上本部に設置された公式掲示板に掲示される。

3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の8:45までに掲示される。

4. 陸上で発する信号

4-1 陸上で発する信号は大会本部前に掲揚される。

4-2 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号回答旗説明文中の「1分」を「30分」と置き換える。

5. レースの日程

5-1 予定されるレース日程とレース数は次のとおりとする。

令和5年9月10日(日)

5-2 1日のレース数は最大6レースを計画している。

5-3 最初のレースの予告信号予定時刻は、10:00とする。

5-4 15:01以降のスタートは行わない

6. クラス旗

470級

スナイプ級

470旗

スナイプ旗

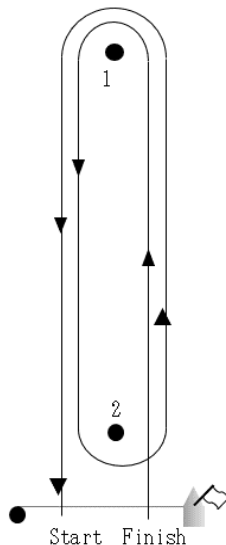
7. レースエリア

レースエリアは豊田自動織機 海陽ヨットハーバー沖とする。

8. コース

> ①

スタート → M1 → M2 → M1 → フィニッシュ



スタート後にはコースの次のレグは変更しない。

9 マーク

M1. M2はピンク色の円錐形のブイとする。

10 スタート

10-1 レースは規則26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前としスタートさせる。

10-2 スタート・ラインは、信号艇のオレンジ色のスタート・ライン旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるオレンジ色の円錐形ブイまたは黄色の球形ブイとの間とする。

11 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、信号艇の青色旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるフィニッシュ・マークの間とする。

12 ペナルティ方式

規則44.1の2回転ペナルティを1回転ペナルティと変更して適用する。

13 タイムリミット

タイムリミットは先頭艇フィニッシュ後、10分とする。

14 抗議と救済の要求

抗議はセルフジャッジとする。

15 得点

15-1 艇のシリーズ得点は、全てのレース得点の合計とする。

16 安全規定

16-1 競技者は出艇前に大会本部前に用意される出艇申告書に署名しなければならない。

16-2 帰着した競技者は、速やかに帰着申告書に署名しなければならない。

16-3 競技者は海上では常時有効な浮力を持つライフジャケットを着用していなければならない。
また、ドライスーツあるいはウエットスーツを必ず着用しなければならない。

16-4 リタイヤした艇は、できるだけ速やかにレース委員会に伝えなければならない。

16-5 競技者は自分自身の技量を考慮して自力で帰港できないと判断した場合、出艇してはならない。

16-6 このレースの救助体制は人命第一としている。
主催者が危険と判断した場合、強制救助する場合がある。
緊急時は、余力のある時のみ艇体を救助する。

17 表彰

各クラス優勝から3位までを表彰する。

18 責任の否認

このレースの競技者は自分自身の責任で参加する。

規則4「レースをすることの決定参照」

主催団体は、レガッタの前後、期間中に生じた物理的損害または身体障害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。